

第十七回 新潟市立万代高等学校卒業証書授与式 式辞

陽ざしがすっかり明るくなり、春の訪れが感じられるよき日に、令和元年度第十七回 新潟市立万代高等学校卒業証書授与式を挙げていただけますことは、卒業生はもとより在校生、教職員そして保護者の皆様にとりまして大きな喜びであり、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、出席者を限定することとなり、保護者の皆様をはじめ来賓の皆様や在校生と共に祝いすることができなくなりました。

卒業生及び保護者の皆様の胸中をお察しすると、誠に申し訳ないという思いと、校長としても誠に残念であり、断腸の思いであります。

しかし、何よりも生徒はもとより保護者の皆様の健康・安全を第一に考えた対応であることをご理解いただきますようお願い申し上げます。

さて、只今、卒業証書を授与した英語理数科三十九名 普通科百九十六名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。三年間の高校生活を終えて、今日この場から、皆さんは、それぞれの人生に向かって旅立ちます。

三年間という時の流れを振り返った時、希望に胸を膨らませ臨んだ入学式、友との友情を育んだスキー授業、関西地方への修学旅行、学校がひとつになった体育祭、友と協力しながら作り上げた水都祭、そして、自らの進路実現に向け熱心に取り組んだ授業など、皆さんの心の中には、本校での充実した日々の思い出が去来することでしょう。

そして、その思い出は、十年後、二十年後、時がたっても、皆さんの心の中で、生き生きと輝きを放ちながら、今後の人生を支えていくものであってほしいと思います。

ここで、本校を卒業して新たなステージに向かう皆さんに、2つのことを申し上げて、私からの贈る言葉とさせていただきます。

一つ目は、「社会の変化に柔軟に対応し主体的に生きてほしい」ということです。

これからの社会は、Society 5.0 で述べられているように、AIやインターネットがますます発展し、これらの技術が社会に取り入れられ、社会が大きく変わると考えられています。今後、社会は急激に変化し、複雑で予測困難となり、既存の知識だけに頼ってはい対応できないことが予測されます。

私は、このような社会の変化に対応するには、物事に対し柔軟な考えを持ち、主体的に生きていくことが大切であると考えています。

ここで、「柔軟な考えを持ち」とは、社会がどのように変わってもその変化に応じて、自らの考えを修正するということです。その際、社会の変化を受け身として捉えるのではなく、社会の変化に対して自らの課題を発見し、その解決を図るように、自らの考えを修正することが重要です。

さらに、「主体的に生きていく」ためには、様々な変化に押し流されるのではなく、自らの目標や夢の実現に向けて自分らしく生きていくことが大切です。そのためには、学び続ける姿勢を持ち、自分自身を成長させ、物事に対して自分の考えを持つと共に、自らの言動に責任を取る覚悟が必要です。

二つ目は、「国際社会で活躍できる人になってほしい」ということです。

国際社会で活躍できる人の資質として、外国人とコミュニケーションをとるときに必要な英語力を挙げる人も多いと思います。確かに英語力はとても大切な資質

の1つであります。しかし、これと同等以上に重要なものは、宗教や文化及び価値観の違いなどを理解しながら相手の多様性を受け入れ、それを踏まえたうえで自分の主張ができることだと思います。

また、自らの専門性を持ち、幅広い教養を身に付け、日本の歴史や文化を語れることも大切です。

さらに、積極的にコミュニケーションを取ろうとする勇気と何事にもチャレンジする精神力を持っていることが重要であると思います。

皆さんには、自己研鑽を重ねながら、ここで述べた資質を身につけ、生き生きと国際社会で活躍していただきたいと思います。

卒業生の皆さんには、本校を卒業した後も、自らの研修と修養に務め、高い知識や技術を身につけるとともに、社会の一員として責任を果たすとともに、有用な人物となり、多くの人々から信頼を寄せられるような人になってください。

さて、卒業生の皆さんが、晴れて今日の卒業式を迎えることが出来たのは、自分一人だけの力ではなく、本校の教職員をはじめご家族の方々や多くの先輩たちから力強く支えられたおかげであることを忘れてはなりません。どうか本校の教職員をはじめご家族への感謝を忘れないでください。

最後になりましたが、本日 ご出席が叶わなかった保護者の皆様に申し上げます。

本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。お子様の在学期間中、本校の教育方針をご理解いただき、様々な教育活動にご協力を賜りましたことを、本校の教職員を代表して深く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

今後も、卒業生並びに保護者の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し式辞いたします。

令和2年3月18日
新潟市立万代高等学校長
渡辺 富男